

平成26年5月

関係の皆様

全国中学校理科教育研究会
会長 立澤比呂志
第61回全国中学校理科教育研究会島根大会
運営委員長 土江志朗

第61回全国中学校理科教育研究会 第50回中国四国中学校理科教育研究会 島根大会

二次案内（最終案内）



宍道湖のシジミ漁



記念講演
防災情報機構会長
伊藤和明先生



松江城と堀川遊覧船

主催

全国中学校理科教育研究会
中国四国中学校理科教育研究会
島根県小中学校理科教育研究会

後援

文部科学省
全日本中学校長会
日本理科教育協会
島根県教育委員会
松江市教育委員会
島根県中学校長会
島根県科学教育振興会
(独法)科学技術振興機構
ソニー科学教育研究会

協賛

(公社)日本理科教育振興協会
(公財)東し科学振興会
(公財)日本教育公務員弘済会島根支部
(一財)島根県教職員互助会

【研究主題】「科学的な資質や能力を育み、豊かな未来を創造する理科教育」

【大会主題】「自然との関わりを通して、科学的な思考力・判断力・表現力を育む理科教育」

【開催期日】平成26年8月7日（木）～8日（金）

【開催会場】島根県立産業交流会館「くにびきメッセ」、松江東急イン

第61回全国中学校理科教育研究会島根大会運営委員会

〈ご 案 内〉

第61回全国中学校理科教育研究会島根大会を、第50回中国四国中学校理科教育研究会島根大会と併催し下記の要領で開催いたします。

つきましては、ご多忙の折とは存じますが、多数の皆様にご参加いただきたくご案内申し上げます。なお、各所属長におかれましては、理科教育振興のために関係職員への周知並びに参加につきましてのご高配を賜りますよう、併せてお願い申し上げます。

【研究主題】「科学的な資質や能力を育み、豊かな未来を創造する理科教育」

【大会主題】「自然との関わりを通して、科学的な思考力・判断力・表現力を育む理科教育」

【大会主題設定にあたって】

本大会では、「科学的な思考力・判断力・表現力」を育むことを通し全中理研究主題にある「科学的な資質や能力」を育てることを重点として大会主題を設定した。

文部科学省が行った全国学力・学習状況調査（平成24年度・理科）の報告によると、「自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている」「観察や実験の結果から、どのようなことがわかったのか振り返って考える」等と答えた生徒の平均正答率が高い傾向がある一方、「実験の計画や考察などを検討し改善したことを、科学的な根拠を基に説明すること」や「実生活のある場面において、理科に関する基礎的・基本的な知識や技能を活用すること」等に課題も指摘されている。これらのことを受けて私たちは、「科学的な思考力・判断力・表現力」を育むことを通して生徒一人一人の課題解決の能力を伸長させ、日常生活の様々な場面において、より賢明な意志決定ができる能力を育成することを目指した理科教育を推進しなければならない。

併せて、社会には、環境問題やエネルギー問題、東日本大震災やそれに続く原発事故からの復興などの課題が山積していることも見据える必要がある。これまで全国で行われてきた環境保全の取組に加えて自然に対する畏敬の念や防災意識の高まりが見られる折、私たちはこうした状況を適切に捉え、科学が発展する中で行ってきた自然との関わり方を見直し、自然に対するおごりを反省するとともにそこから得られる教訓を今後の生活に生かさなければならない。

全中理研究主題にある「豊かな未来」は、自然と一体になった人間社会の中にこそ作り出せるものであり、その意味において「科学的な思考力・判断力・表現力」は、自然と触れ合ったり自然の事物や現象から学んだりする学習を通して育む必要があると考える。

以上のような理由から、本大会主題を、「自然との関わりを通して、科学的な思考力・判断力・表現力を育む理科教育」と設定した。

【開催期日・会場】平成26年8月7日（木）島根県立産業交流会館「くにびきメッセ」
松江東急イン（★）
8日（金）島根県立産業交流会館「くにびきメッセ」

【日 程】

8月7日（木） ★：松江東急イン会場

8:15	8:45	10:00	11:45	12:00	13:30	14:30	15:30	17:00
役員 受付 ★	役員会★	理事会★	写真 ★	昼食/休憩	ブレイク 会 一般 受付	開会式	文部科学省 講演	
(9:30より理事受付★)					14:00 (18:00よりレセプション★)			

8月8日（金）

8:30	9:00	12:00	13:00	14:30	15:00
受付	分科会	昼食/休憩	記念講演	閉会式	

【分科会発表者と主題一覧】

科学を学ぶ意義や有用性を実感し、科学的な見方や考え方を育む教育課程		
第一分科会 教育課程	(関東甲信越) 入野 岳 志木市立志木第二中学校	日常生活と科学を結びつけ、自ら探究しようとする態度を育む理科学習の研究 ～効果的な家庭学習のあり方と、それを活かした授業計画の実践～
	(近畿) 太田 聡 滋賀大学教育学部附属中学校	生徒一人ひとりが自ら自然を探索し、互いに学び合う理科学習 ～理科教員の連携と、埋もれた教育資源の活用をふまえた新たな教育課程・授業改善への取り組み～
	(中四国) 蒲生 信博 岡山県立倉敷天城中学校	一人1テーマの課題研究を成功させるための3年間の取組 倉敷天城中は、世界に通じる人材育成をめざしている。我が国のリーダーを育てるための教育内容を紹介する。
	(九州) 野崎 征久 佐賀県立唐津東中学校	主体的に探究する力を高め、確かな学力を育てる理科指導法の研究 単元の終末に生徒の疑問を解決する観察・実験を行い、観察・実験結果の説明活動を通して確かな学力を育てる。
	(島根県) 岡田 正二 出雲市立浜山中学校	出雲科学館と連携した理科学習の展開とその効果 出雲科学館での理科学習を行って12年。隣接する地域の生徒との比較を行い、その効果を報告する。
第二分科会 学習指導	習得した知識・技能を活用し、学ぶ意欲を高める学習指導	
	(北海道) 菊地 桜子 旭川市立北星中学校	目的意識の共有を図り、科学的に探究する力を高める理科学習 ～科学的に探究する力を高める教材活用の工夫について～
	(中部) 中川 靖浩 名古屋市立上社中学校	知識をつなげて、自然事象の仕組みを解き明かす理科学習 ～モデルと実物の観察を重視して～
	(中四国) 原田 優次 安芸太田町立戸河内中学校	理科第2分野『地球と宇宙』の教材開発 ～念頭操作を必要とする課題と空間についての認識プロセス～
	(九州) 西岡 智洋 熊本市立京陵中学校	チームで進める授業づくり ～地学分野における九理教大会への取り組みを通して～
(島根県) 昆陽 悟 安来市立第二中学校	生徒が主体的に取り組む授業づくり ～かかわり合い共に学び合う活動の工夫を通して～	
第三分科会 観察・実験	科学的に探究する能力や態度を育む観察・実験	
	(北海道) 星野 孝英 札幌市立明園中学校	身のまわりの事象に演繹的にアプローチする課題解決学習 ～乗用ホバークラフトを導入教材とした作用・反作用の授業実践から～
	(東北) 進藤 義明 秋田市立秋田西中学校	既存の知識とのつながりを意識したワークシートの工夫 既存の知識を思い出し、活用するワークシートを用いた授業実践の事例紹介
	(関東甲信越) 外川 陽清 富士吉田市立吉田中学校	視覚的、体験的に学ぶ地学領域の実験や観察の工夫 『地学教材としての富士山』についての学習事例の紹介
	(東京) 上村 礼子 東京都立小石川中等教育学校	銅とマグネシウムによる定比例の法則の実験の改善 ～2年「粒子」の学習で生徒実験の結果から定比例の法則を理解する～
(中四国) 八木 健太郎 吉井 雅英 香川大学教育学部附属高松中学校	科学的に探究する能力の基礎と態度を育成するための観察、実験の工夫 ～身近な「土」の教材化を通して～	
第四分科会 環境教育	自然との共生をめざす環境教育	
	(中部) 高木 健 陶山 俊輔 岐阜市立陽南中学校 岐阜市立青山中学校	自然と共生できる力をはぐくむ生徒の育成 ～科学的な根拠に基づいて考察する学習活動を通して～
	(近畿) 米田 奈都季 天川村立洞川中学校	野外観察学習会の取組 ～野外での自然体験を通して、地域の自然環境に対する感受性を養う環境教育～
	(中四国) 横山 雅一 秋山 英正 倉吉市立東中学校 琴浦町立東伯中学校	環境問題に関する自己決定力を育成するための取組 ～3年間のカリキュラムの中で行える実践～ 中学3年間でできるモデルシミュレーションを利用した環境学習の実践例と、その成果についての報告
	(九州) 松田 敬子 北九州市立湯川中学校	生徒の環境に対する意識の向上と行動力の育成を図る環境教育 ～学校生活や地域の自然環境を通して、環境保全のために、主体的に取り組む態度や科学的な能力を醸成する～
(島根県) 土井 真一 飯南町立頼原中学校	世代間の交流を生かした環境教育 ～地域の自然を敬愛し、自らが果たすべき役割について主体的に考え取り組もうとする生徒の育成～	
第五分科会 学習評価	科学的な思考力・判断力・表現力を育む学習評価	
	(東北) 山本 良 米沢市立第四中学校	自己の変容をとらえる学習評価の工夫 ～ワンページポートフォリオの活用を通して～
	(関東甲信越) 田中 祥悟 横浜市立下瀬谷中学校	思考力、表現力を育成する指導と評価 探究的な活動を通して、思考力・表現力を育成する指導と評価の研究
	(東京) 小原 洋平 江戸川区立松江第六中学校	考える力を育てる学習評価 ～考察の再レポート制、ワンページポートフォリオ評価の実践を通して～
	(中部) 中井 克実 四日市市立桜中学校	学習意欲を引き出す指導と評価の工夫 イメージマップの手法を活用し、生徒が自らの学びを実感できる指導と評価の方法を探る
(中四国) 森山 由香里 愛媛大学教育学部附属中学校	生徒の科学的な思考力を高めるための描画法を用いた評価 ～第3学年「化学変化とイオン」において～	

【講演】

文部科学省講演 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 野内 頼一 先生
「これからの理科教育」

記念講演 防災情報機構会長 元NHK解説員 伊藤 和明 氏
「近年の災害に学ぶ」

【ブース展示】

大会期間中は、教材や書籍関係各社による展示を行います。

【申し込み】

別紙によりお申し込み下さい。
大会参加費 4500円（事務手数料500円を含む）

【連絡・問い合わせ先】

第61回全国中学校理科教育研究会島根大会 運営委員会
運営委員長 土江 志朗（雲南市立大東中学校長）
〒699-1245 島根県雲南市大東町養賀967
TEL：0854-43-2107 FAX：0854-43-9060
E-mail：daito-chu@city.unnan.shimane.jp
事務局長 大坂 俊行（松江市立八雲中学校教諭）
〒690-2103 島根県松江市八雲町西岩坂931
TEL：0852-54-0014 FAX：0852-54-2150
E-mail：yakumo-j@city.matsue.ed.jp

【会場所在地・周辺地図】

